

松が丘園 通信 5年2月号

令和5年2月1日発行・vol.53
社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

- ◆この通信は、障害者支援センター松が丘園で行う事業の情報をお伝えしています。
- ◆事業団ホームページには、この通信の他、各事業の詳細を掲載していますので、こちらも合わせてご覧ください。
www.sagamihara-shafuku.or.jp/matsugaokaen/mtgk-news.html

障害者支援センター多機能型事業所

<成人を祝う会>

令和5年1月23日（月）に成人祝賀会を開催しました。今年度20歳になる方をお祝いする会です。対象となる利用者の方は、生活介護事業1名、自立訓練事業6名です。「私を育ててくれてありがとうございます」「どんな仕事が自分に合っているかわからないけど、就職して働きたいです」等、それぞれが20歳になった抱負や家族への感謝の気持ちを堂々と発表していました。参列した年下の利用者の方は、憧れのまなざしで、ひとり一人のお話を聞き、家族の方々は、一言一言に耳を傾け、うなずいておられました。とても心あたたまる雰囲気の中となりました。これから大きく飛躍する皆様を心よりお祝いいたします。おめでとうございます



【それぞれの思いを語りました！】 【おめでとうございますがんばってください！】



【自立訓練事業のみなさんです】

手話通訳者等養成事業

<要約筆記体験会募集のお知らせ>

要約筆記とは、聞こえにくい人に、話の内容をその場で要約し文字として伝えることです。今回、手書きやパソコンに入力した文字をスクリーンに映し出し、聞こえにくい人に伝える方法の体験会を行います。日時は3月9日（木）午後1時30分～午後3時30分、会場は相模原市民会館で開催します。参加を希望される方は3月6日（月）までに、松が丘園までお申し込みください。申込書は松が丘園、けやき体育館窓口の他、事業団ホームページに掲載しています。

<手話講座募集のお知らせ>

来年度開催の手話講座の募集が2月15日（水）から始まります。講座の日程、対象者、募集締切日等は講座によって異なりますので、詳しくは募集要項をご確認ください。

募集要項は、松が丘園、けやき体育館窓口の他、事業団ホームページに掲載します。

なお、手話講座・初級、手話講座・中級応用、要約筆記者養成講座は3月上旬から募集を開始する予定です。

○手話講座・中級基礎編<全36回>

手話経験1年以上・原則毎週火曜日午前10時～

○手話講座・フォローアップ<全38回>

手話経験2年以上・原則毎週水曜日午前10時～

医療的ケア児等コーディネーター

令和4年4月1日より、医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障害児とそのご家族が、地域で安心して暮らしていけるように、ライフステージに応じて、保健・医療・福祉・子育て・教育等の関係分野にまたがる支援を調整する「医療的ケア児等コーディネーター」が緑区と南区にある「障害者相談支援キーステーション」に配置されています。活動内容は、ご自宅や通園・通学先などへ訪問し、お話を伺うほか、医療的ケア児等が利用している社会資源の状況把握やこれまで受入れの実績がない事業所への働きかけなども行っています。また、医療的ケア児等の支援に携わるいろいろな分野の方が参加する相模原市医療的ケア児等支援地域協議会に出席し、相模原市における医療的ケア児等に係る現状や課題を共有しています。これからも地域の理解を深めながら、ご本人・ご家族の想いに寄り添っていきたいと思います。



【会議の様子(イメージ)です】

福祉研修センター

<研修報告>

「障害者週間」の12月5日（月）に、桜美林大学 谷内孝行准教授をお迎えし『障害平等研修』を開催しました。本研修は、障害者との「対話型」と「発見型」の研修により受講者の意識を変え、障害者に対する差別の撤廃と合理的配慮の提供を推進する研修です。参加された皆さんは「障害」とは何か？「人権」とは何か？「平等と公平」の違いは？などグループワークの中で話し合いながら改めて考え、学ぶ機会になりました。



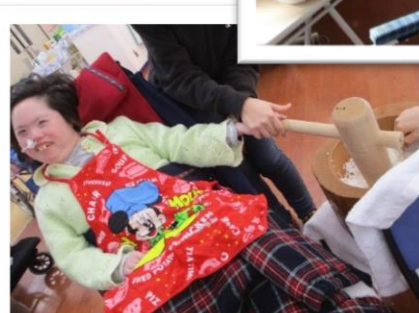
【 谷内先生と共に“障害”について理解を深めます 】

障害者支援センター多機能型事業所

<生活介護事業>

これまで季節感のある活動を行ってききましたが、今回は今までに行ったことがない体験をしようと、もちつき大会を行いました。

杵と臼の用意からもちつきまで、利用者の皆さんと一緒に行いました。お正月など季節のBGMを流しながら交代でもちつきを行い、賑やかなひと時を過ごしました。



【 杵と臼を用意して賑やかにもちつきをしました 】

地域障害者施設支援事業

12月21日（水）、22日（木）の2日間、市役所ロビーにて、日頃は、あじさい会館1階のハンドメイドショップ「バオバブ」で販売しているお菓子や雑貨などの販売会を行いました。

たくさんの方にご来場いただき、嬉しい2日間となりました。参加された利用者の皆さんも、お客様とお話をする中で、自分が作った商品を手にとってもらう喜びを実感し、笑顔で接客していました。



【 市役所ロビーでの販売会に多くの方が来られました 】

相模原就業・生活支援センター／就労援助センター

コロナ禍により、対面での行事が中止となり、オンラインでの実施が多くなりましたが、12月10日（土）にフォローアッププログラムとして、3年ぶりにボウリング大会を開催しました。

フォローアッププログラムは、就労援助センター登録者のうち、在職者を対象に、勉強会や余暇活動を通して情報交換や悩みを話す場として開催しているものです。

ボウリング大会は、フォローアッププログラムの中でも、カラオケ大会とともに特に人気がある行事で、皆さんとても楽しみにしているものです。今回は18名の方が参加し、優勝目指して楽しんできました。マイボウル、マイシューズを持参して参加される方もいました。「久しぶりに楽しめてよかった。」「違う行事も参加したい。」といった声も聞くことができました。

感染症対策を行いながら、こうした行事を再開し、交流の機会を増やしていきます。

